

2019年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年10月11日

上場会社名 イワキ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8095 URL <https://www.iwaki-kk.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩城 慶太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理財務部長 (氏名) 熱海 正昭 TEL 03-3279-0481
 四半期報告書提出予定日 2019年10月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年11月期第3四半期の連結業績（2018年12月1日～2019年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年11月期第3四半期	46,396	5.1	1,700	20.4	1,816	20.4	1,146	12.0
2018年11月期第3四半期	44,152	4.6	1,413	19.2	1,508	14.0	1,024	21.0

(注) 包括利益 2019年11月期第3四半期 742百万円 (△35.5%) 2018年11月期第3四半期 1,151百万円 (4.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年11月期第3四半期	35.19	—
2018年11月期第3四半期	31.70	—

(注) 前連結会計年度末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2018年11月期第3四半期については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額によっております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年11月期第3四半期	43,303	19,682	45.4	600.66
2018年11月期	41,431	19,219	46.3	591.72

(参考) 自己資本 2019年11月期第3四半期 19,648百万円 2018年11月期 19,187百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年11月期	—	5.00	—	5.50	10.50
2019年11月期	—	6.00	—	—	—
2019年11月期（予想）	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年11月期の連結業績予想（2018年12月1日～2019年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	63,000	4.9	2,000	8.2	2,000	0.0	1,550	9.6	47.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年11月期3Q	34,636,058株	2018年11月期	34,508,789株
② 期末自己株式数	2019年11月期3Q	1,924,209株	2018年11月期	2,082,406株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年11月期3Q	32,583,325株	2018年11月期3Q	32,311,725株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の経済環境予測等の前提に基づいて作成したものであり、実際の実績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。詳細につきましては、添付資料の「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(企業結合等関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2018年12月1日~2019年8月31日)におけるわが国経済は、輸出を中心に弱さが続いているものの、各種政策の効果もあり、緩やかに回復しております。

このような状況のもと、当社グループでは、さらなる成長と企業価値の向上を目指して策定した、創業111周年を迎える2025年11月期へ向けた中長期ビジョン及び3ヵ年の中期経営計画を推進するため、各事業での主要施策の展開に注力してまいりました。

なお、前連結会計年度末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前年同四半期連結累計期間との比較・分析にあたっては、暫定的な会計処理の確定による見直し後の金額を用いています。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は463億9千6百万円(前年同期比5.1%増)、営業利益は17億円(同20.4%増)、経常利益は18億1千6百万円(同20.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億4千6百万円(同12.0%増)となりました。

次にセグメントの概況につきご報告申し上げます。

医薬・FC事業

医薬品原料分野では、消費税増税に伴う薬価改定前の買い控えや値下げ要請もあり、利益確保が容易ではない状況のもと、創薬向け中間体や中分子医薬品の提案、マルチソース化に伴う安定供給に取り組みました。その結果、コスト上昇に伴う利益低下はあったものの、新規中分子医薬品の取引開始、新規ジェネリック開発品の採用や既存医薬品原料の堅調な販売、ファインケミカル受託品の売上増加が業績に貢献し、全体として売上・利益とも大幅に伸ばいたしました。

医薬品分野では、安定供給体制のもと、基礎的医薬品を含む主要外用剤を中心に、新製品の男性型脱毛治療薬などを加え、調剤薬局・DPC病院等の医療機関における適切な情報提供活動に取り組みました。また、不採算品再算定など公的制度活用に向けた製品の採算性に関する見直し対応を進めてまいりました。その結果、主力の外用剤は全般的に販売が好調に推移し、特に副腎皮質ホルモン剤など主力品の売上が伸びました。一般用医薬品は「ビタミンC末」は低調に推移しましたが、提携品の売上が伸びました。また営業利益は、基礎的医薬品の堅調な販売や高薬価品の伸長、先行開発費等の経費減もあり好調に推移いたしました。

以上により、当事業全体の売上高は182億8百万円(前年同期比12.4%増)、営業利益は17億2千9百万円(同46.9%増)となりました。

HBC事業

機能性食品原料分野では、自社企画品の提案強化、既存顧客との取引拡大に取り組んでまいりました。一方、化粧品原料分野では、新規自社原料の発売、輸入原料の拡販などに注力いたしました。その結果、化粧品原料分野は、市場の好調を背景に堅調に推移いたしました。しかしながら機能性食品原料分野で既存品の落ち込みの影響を受けたことにより全体的には低調に推移いたしました。

一般用医薬品を主体とした卸売分野では、自社企画品の提案強化、海外向け販売及び既存顧客との取引の拡大に向けた施策に取り組むとともに、新規顧客開拓に取り組んでまいりました。その結果、インバウンド消費の減少による影響を受けましたが、既存顧客との取引拡大、新規顧客向け販売に一定の成果が得られ、堅調に推移いたしました。通販化粧品分野では、新製品の開発及び発売、新規顧客の開拓、既存顧客へのプロモーション活動の強化、クロスセル向上に注力するとともに、海外での販売に向けた検討を進めてまいりました。その結果、新規顧客向け売上高は計画を下回りましたが、主力製品の既存顧客向けプロモーションの好調により全体では堅調に推移いたしました。

以上により、当事業全体の売上高は182億2千9百万円(前年同期比0.6%減)、営業損失は2千万円(前年同期は1億2千8百万円の営業利益)となりました。

化学品事業

表面処理薬品分野では、プリント配線板市場向けにはビアフィリング用硫酸銅めっき添加剤、微細配線用ドライフィルム剥離剤の拡販を継続、半導体市場向けにはバンプ形成用薬品及びシード層エッチング薬品の普及活動を国内外で実施いたしました。その結果、硫酸銅めっき添加剤は海外向けが伸長、半導体分野は国内外で堅調に推移いたしました。その他の分野では採用評価が進み、未だ販売増加には至っておりませんが、前年同期比において増収となりました。

表面処理設備分野では、原価低減・納期短縮を全社目標として、装置標準化による納期短縮活動や、最適地生産による原価低減活動に取り組んでおります。また計画された設備投資需要が先延ばしになるなか、新たな需要先開拓の営業活動を進めてまいりました。その結果、米中の貿易摩擦や日韓関係の悪化により、スマートフォンの出荷台数低迷や、堅調に推移していた自動車搭載基板に陰りが出るなど、売上高は低調に推移いたしました。

以上により、当事業全体の売上高は53億3千8百万円（前年同期比8.6%増）、営業利益は1千2百万円（同87.2%減）となりました。

食品事業

食品原料分野では、関連会社での受託加工提案、健康志向食品向け原料の提案及び海外向け販売の強化、新規原料の提案、既存原料の販売拡大に取り組んでまいりました。その結果、顧客の製品終売による販売減少、在庫調整による販売減少などの影響がありましたが、健康志向食品向け原料の需要増加などにより全体的には横ばいで推移いたしました。

以上により、当事業全体の売上高は31億7千5百万円（前年同期比0.9%減）、営業損失は2千万円（前年同期は1千5百万円の営業損失）となりました。

その他

当事業全体の売上高は14億4千3百万円（前年同期比3.5%減）、営業損失は1百万円（前年同期は2千4百万円の営業利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産433億3百万円（前連結会計年度末比18億7千2百万円増）、負債合計236億2千1百万円（同14億1千万円増）、純資産は196億8千2百万円（同4億6千2百万円増）となりました。

総資産の増加の主な理由は、現金及び預金の減少6億3百万円、受取手形及び売掛金の増加8億4千8百万円、電子記録債権の増加5億9千3百万円、商品及び製品の増加8億3千5百万円によるものです。負債合計の増加の主な理由は、電子記録債務の増加7億5千9百万円、未払費用の減少6億2千2百万円、長期借入金の増加7億3千6百万円によるものです。純資産の増加の主な理由は、利益剰余金の増加7億5千8百万円、その他有価証券評価差額金の減少3億9千8百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年11月期の連結業績予想につきましては、2019年1月11日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,746,385	4,142,919
受取手形及び売掛金	14,672,473	15,520,600
電子記録債権	2,031,728	2,625,674
商品及び製品	3,488,012	4,323,066
仕掛品	1,199,466	1,379,394
原材料及び貯蔵品	1,084,059	1,294,903
その他	678,453	663,467
貸倒引当金	△55,755	△44,146
流動資産合計	27,844,825	29,905,880
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,470,103	9,045,153
減価償却累計額	△6,045,597	△6,148,819
建物及び構築物（純額）	2,424,506	2,896,334
機械装置及び運搬具	8,208,419	8,146,319
減価償却累計額	△7,483,842	△7,405,896
機械装置及び運搬具（純額）	724,577	740,422
土地	3,411,935	3,413,484
その他	3,101,293	3,278,021
減価償却累計額	△2,479,043	△2,599,489
その他（純額）	622,249	678,532
建設仮勘定	194,492	8,907
有形固定資産合計	7,377,760	7,737,681
無形固定資産		
のれん	389,669	374,682
技術資産	429,975	413,437
顧客関連資産	125,000	117,487
その他	186,305	259,105
無形固定資産合計	1,130,950	1,164,713
投資その他の資産		
投資有価証券	3,930,978	3,375,399
その他	1,199,198	1,172,400
貸倒引当金	△52,681	△52,129
投資その他の資産合計	5,077,495	4,495,670
固定資産合計	13,586,206	13,398,065
資産合計	41,431,031	43,303,946

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,586,857	9,721,595
電子記録債務	3,179,902	3,939,092
短期借入金	3,296,800	3,696,800
未払費用	1,617,238	994,802
未払法人税等	456,795	383,676
賞与引当金	64,372	330,894
返品調整引当金	10,350	11,500
製品保証引当金	10,713	8,969
ポイント引当金	411	—
その他	811,176	738,452
流動負債合計	19,034,618	19,825,783
固定負債		
長期借入金	452,000	1,188,600
繰延税金負債	509,476	345,693
株式報酬引当金	109,628	83,331
退職給付に係る負債	1,668,447	1,743,216
その他	437,305	435,238
固定負債合計	3,176,857	3,796,079
負債合計	22,211,476	23,621,863
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,637,080	2,663,679
資本剰余金	4,254,389	4,280,988
利益剰余金	11,285,393	12,044,325
自己株式	△595,470	△541,844
株主資本合計	17,581,392	18,447,149
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,477,343	1,079,002
繰延ヘッジ損益	3,923	1,146
為替換算調整勘定	77,203	60,532
退職給付に係る調整累計額	47,603	61,021
その他の包括利益累計額合計	1,606,073	1,201,702
非支配株主持分	32,089	33,231
純資産合計	19,219,555	19,682,083
負債純資産合計	41,431,031	43,303,946

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年12月1日 至 2018年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年8月31日)
売上高	44,152,657	46,396,859
売上原価	34,782,748	36,418,408
売上総利益	9,369,909	9,978,450
販売費及び一般管理費	7,956,763	8,277,561
営業利益	1,413,145	1,700,888
営業外収益		
受取利息	1,028	1,092
受取配当金	46,456	52,928
受取賃貸料	40,975	33,908
持分法による投資利益	359	5,715
その他	74,503	110,125
営業外収益合計	163,323	203,769
営業外費用		
支払利息	16,986	17,759
賃借料	23,598	22,622
為替差損	12,591	33,163
その他	14,843	14,291
営業外費用合計	68,019	87,836
経常利益	1,508,449	1,816,821
特別利益		
固定資産売却益	36,620	45
投資有価証券売却益	—	1,250
特別利益合計	36,620	1,295
特別損失		
固定資産処分損	29,313	30,845
固定資産売却損	1,157	—
訴訟関連費用	7,262	—
特別損失合計	37,733	30,845
税金等調整前四半期純利益	1,507,336	1,787,271
法人税、住民税及び事業税	526,442	633,669
法人税等調整額	△54,414	△109
法人税等合計	472,027	633,560
四半期純利益	1,035,308	1,153,710
非支配株主に帰属する四半期純利益	11,010	6,990
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,024,298	1,146,719

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年12月1日 至 2018年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年8月31日)
四半期純利益	1,035,308	1,153,710
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	124,794	△398,086
繰延ヘッジ損益	4,487	△2,776
為替換算調整勘定	△19,138	△23,150
退職給付に係る調整額	5,926	13,417
持分法適用会社に対する持分相当額	△19	△254
その他の包括利益合計	116,049	△410,851
四半期包括利益	1,151,358	742,859
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,143,035	742,348
非支配株主に係る四半期包括利益	8,322	511

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自2017年12月1日 至2018年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医薬・FC	HBC	化学品	食品	計				
売上高									
(1)外部顧客への売上高	16,194,147	18,338,777	4,917,143	3,205,924	42,655,992	1,496,665	44,152,657	—	44,152,657
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	262,689	18,297	19,554	—	300,540	3,908	304,449	△304,449	—
計	16,456,836	18,357,074	4,936,697	3,205,924	42,956,532	1,500,574	44,457,107	△304,449	44,152,657
セグメント利益又は損失(△)	1,177,543	128,294	101,109	△15,985	1,390,962	24,225	1,415,188	△2,042	1,413,145

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、動物用医薬品の卸売等でありませ

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,042千円は、棚卸資産の調整額によるものです。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「化学品」セグメントにおいて日立化成株式会社からの事業譲受によりのがれんが発生しております。

当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結会計期間においては399,661千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間（自2018年12月1日 至2019年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医薬・FC	HBC	化学品	食品	計				
売上高									
(1)外部顧客への売上高	18,208,907	18,229,794	5,338,561	3,175,800	44,953,063	1,443,795	46,396,859	—	46,396,859
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	219,273	9,441	34,812	—	263,527	2,432	265,959	△265,959	—
計	18,428,180	18,239,236	5,373,373	3,175,800	45,216,591	1,446,227	46,662,818	△265,959	46,396,859
セグメント利益又は損失(△)	1,729,731	△20,349	12,978	△20,731	1,701,629	△1,643	1,699,986	902	1,700,888

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、動物用医薬品の卸売等でありませ

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額902千円は、棚卸資産の調整額によるものです。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. 前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、「注記事項（企業結合等関係）」に記載の暫定的な会計処理の確定の内容が反映された後の金額により算定しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

比較情報における取得原価の当初配分額の重要な見直し

前第3四半期連結会計期間に行われた当社連結子会社であるメルテックス株式会社による日立化成株式会社からの事業譲り受けについて、前第3四半期連結会計期間において暫定的な会計処理を行っていましたが、前連結会計年度末に確定及び取得原価の配分の見直しを行っております。

当該見直しにより、暫定的に算定されたのれんの金額521,741千円は、122,080千円減少し、399,661千円となっております。のれんの減少は、無形固定資産130,000千円の増加、繰延税金資産7,919千円の減少によるものです。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されております。